

# 長野スキーバス事故

2016/05/14  
Version 1

2016年(平1時55成28年)1月15日深夜1時55分頃、「**長野県北佐久郡軽井沢町の国道18号線碓氷バイパス付近**」で起きた「**スキーバス転落事故**」について説明します。これが普通の事故ではないことを証拠付で説明します。

※これらの問題は日本に於ける重要な問題です。使用は自由です。拡散を希望します。

この事故で多数の未来ある若者の命が奪われました。亡くなられた方たちのご冥福をお祈りいたします。ただ、現在の日本では異常なことが続いています。事件事故も故意に作り出されたものが多いです。後で説明しますが、彼ら組織は下らない遊びで人の命を奪っています。現実に日本で起こっていることを知って考えてください。

現在の日本メディアは、明らかに不自然な事件事故でも、嘘をついてまで普通の事件事故と装い事実を捻じ曲げる行動をしています。これから、彼らが真面目に掘り下げて取り扱っていない事実を書きます。どうか確認してください。

## <不審点を書きます。>

○公開されている防犯映像を見ると変わりますが。もしブレーキを完全に踏み込んでいて、あのスピードが出ているのであれば、確実にブレーキパッドは焼けて削れています。大型バスの重量とスピードです。しかし事故直後の調査で、ブレーキパッドは全く問題なかったと発表されています。ブレーキランプが点灯する程度の甘踏みだったとすれば論理的にしっかりとします。防犯カメラに偽装工作を残す例は他にも良くあります。また、もう一つ少し手前の防犯カメラには異常はなく通常走行です。ブレーキが利かなかったにしても、次の防犯カメラまでのスピードの上がり具合が少し異常な感じもします。



# スキーバス転落

関連ニュースはこちら >

## ブレーキに異常なし 運転手に起因か

毎日新聞 2016年1月21日 15時00分 (最終更新 1月21日 16時12分)

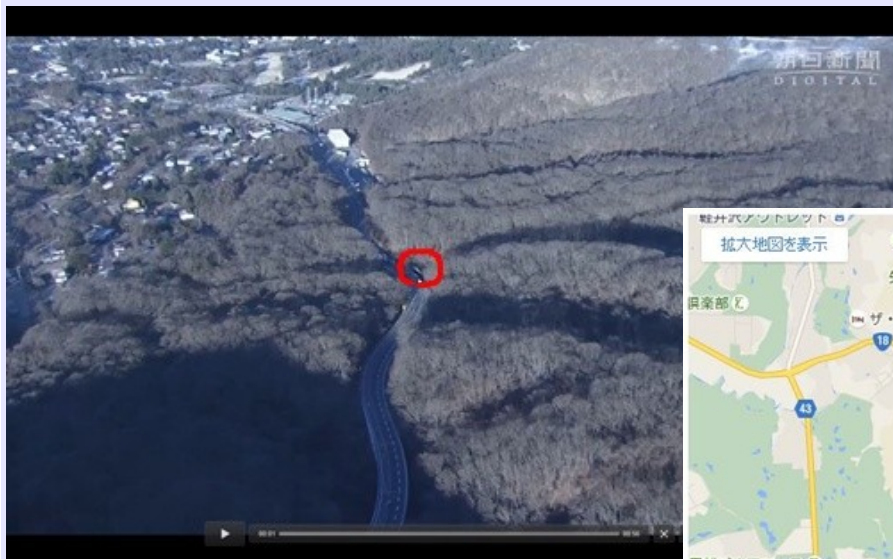
スキーバス転落事故 > 社会 > 事件・事故・裁判 > すべて表示する



乗客・乗員15人が死亡した長野県軽井沢町のスキーツアーバス転落事故で、県警軽井沢署捜査本部による車体検証の結果、ブレーキなど主要部分に目立った異常はなかったことが捜査関係者への取材で分かった。捜査本部は、バスが峠道の下りに差し掛かった付近で運転手にトラブルが起きたとの見方を強める一方、ブレーキやエンジンについては専門家による調査を実施する。



○墜落した地点は、山を下りきった地点にあります。それまでは急カーブばかりの急勾配の山道が長いこと続いていますが。あの現場カーブを越えると、すぐに真っ直ぐで勾配の殆どない市街地道路になるようです。どなたかのドライブ映像で確認しました。貧困ビジネス(運転手は貧困層で天涯孤独だったそうです。)とは言え、人間なので最後の最後まで躊躇った可能性があります。



○メディアは必死で「ニュートラルになっていたのでは？」とニュートラルの仕組みを解説してまで必死に誤魔化そうとされていますが、よく考えてください。坂道でブレーキを前回に踏み込んでもスピードが出る状況で通常の間が考えることはどれだけあるでしょうか。ギアとサイドブレーキしかありません。防犯カメラはかなり手前の位置にあります。その時点であれだけのスピードが出ていたら衝突までに、そのくらいは考えるでしょう。防犯カメラから墜落地点までかなりの距離があるのに、運転手は何もしていません。一般人でもする簡単な行動を、運転手は衝突まで何もせずに放置していたこととなります。運転手はかなりのベテランだそうです、有り得ません。また、仮にニュートラルだとしても、上と同じようにブレーキパッドが焼けているはずですよ。

【動画】転落したスキーバス＝井手尾雅彦撮影

## バス転落直前は時速80キロ ギアはニュートラルか (2016/01/22)

長野県軽井沢町のスキーツアーバス事故で、転落後のバスのギアがニュートラルの状態だったことが関係者への取材でわかった。県警の検証で判明し、下り坂でエンジンブレーキが利かなかった可能性がある。転落直前の速度が時速約80キロだったことも、車載の…【続きを読む】



既存メディアはこうやって、どんなに不可思議な部分があっても、そこは一切説明しません。国民を欺く為に、普通の事故であるように装い、そのことに関してのみ一生懸命説明しています。

○メディアは墜落の直前と、墜落100メートルほど手前でガードレールに衝突した際に、急ブレーキを踏んだ後があると発表しています。仮にニュートラルになっていてブレーキを踏んでもスピードが出ている。ブレーキが利かない状態だと言っているのに、墜落前や衝突の際に急ブレーキを踏んでも利くわけがないでしょう、「嘘に嘘を上乗せして誤魔化す」いつものパターンだから論理破綻することになります。更にブレーキ跡の写真を見ましたが、どちらも急ブレーキのタイヤ跡ではありませんでした。また、片側の車輪しか付いていません。タイヤ表面の模様がクッキリと映っているのは急ブレーキではないです。通常はあの重量とスピードなのでもっと濃く擦れた感じになるでしょう。ガードレール付近のものは明らかに薄く模様もハッキリとしているので、遠心力による圧迫痕です。墜落前のものももの凄い重量とスピードのバスが旋回するときに片側に掛かる重量と遠心力による圧迫痕です。ガードレール衝突時と墜落前のタイヤ跡の濃さ(遠心力の強さと圧迫力)が旋回するときのR(旋回半径)に比例しているようなので、ほぼ間違いのないと思います。ブレーキは踏んでないか、確実に踏み込んでいません。



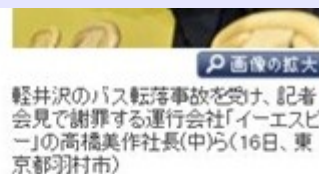
写真左が、100メートル手前のガードレール衝突付近で、メディアが急ブレーキの跡として掲載していたもの。写真右が墜落地点手前の急ブレーキ跡として掲載していたもの。

○ メディアの無理からな誘導。「運転手は大型バスの経験がなかったので、運転ミスではないか」。かれは中型バスのベテランだったそうです。長さが3メートルほど違うのみで構造や操作は殆ど変わらない。つまり、これによって関わってくるのは内輪差のみで、今回の事故には全くといっても良いほどに関係ありません。最初の頃の報道では、殊更にこの運転手の技量がどうのこうのと必死で誘導していました。不自然な事実には一切触れずにです。

土屋運転手は同社の採用面談時に「大型も何回も乗ったことがあるから大丈夫」と話したというが、同社は過去の勤務先に運転歴などを確認しておらず、慣れさせるため高速を運転させた方がよいと判断。16日に記者会見した同社の運行管理者の荒井強所長(47)は「一般道の運転はさせず、高速道路をやらしてもらおうと指示していた」と、経験を不安視していたことを明らかにした。

同運転手は和菓子製造や砕石販売などの会社を経て、バス運転経験は通算10年以上あった。ただ土屋運転手の過去の勤務先などによると、中型やマイクロバスの運転が多かったという。

観光会社で大型バスを15年運転した経験があるという運転手によると、大型バスは車体の重さなどから、ブレーキの使い方などで一定程度の経験が必要という。「経験が浅いと、ブレーキをかけても重さでバスが減速せず、パニックになることもある」と指摘。「大型バスの運転経験が4回程度だったとすれば、実務に就くにはあまりに少ない」と話す。



軽井沢のバス転落事故をめぐり、記者会見で謝罪する運行会社「イーエスピー」の高橋美作社長(中)ら(16日、東京都羽村市)

イー社の山本崇人(たかと)営業部長(44)によると、土屋運転手は昨年十二月に契約社員として採用された。同社はシーズンを控えて不足していたスキーバスの運転手を募集しており、土屋運転手は、以前の職場で同僚だった同社の運転手の紹介で面接を受けた。

土屋運転手はダンプカーの運転手を務めた後、二〇〇〇年に都内のバス会社に入社。約十年間勤務した同社によると、全長九メートルの中型バスの運転を担当。全長十二メートルの大型バスを運転したことは、補助運転手をした時など数回しかなかった。その後、イー社に移るまで勤めた都内の別の会社でも大型バスの経験は積まなかったという。

○この事故を起こしたときに運転していた運転手は、この会社に1月まえに入社したばかりだそうです。更に会社自体も2年ほど前に出来たばかりで、もともと全く畑違いの警備会社が突然に異業種に手を出しているようです。会社自体も野ざらし車庫にプレハブ1軒ととても本気で事業を行う体制ではなかったようです。このパターンは湯川はるな事件でも共通します。更に警備会社は、他の被害者の話にも多く、また私の集団ストーカーでもよく出てきます。HPの灰めかし事例にもありますが、まだ出していないものも多くあります。



まだありますが、取りあえずのものを書いておきます。

ここに書いてあるものはすべて再利用してもらっても構いません。

拡散を希望します。

広島県福山市 HK 苗字はかなり特殊で「平」が入ります。全国で数百人程度で聞いたこともないような苗字です。名前は「こうじ」。2016年5月現在で43歳です。

最後にお願ひがあります。新聞、雑誌、ニュース映像、防犯映像、ネットニュース(HP)など、既存メディアの発表を出来る限り保存してください。報道などの番組を可能な限り録画して保存してください。DVDなどに映像を保管してください。UPして頂くとそれが証拠になることがあります。防犯映像などは偽造捏造の証拠となることが多いです。都合の悪いニュース映像などは消されて二度と使われない傾向にあります。またネットニュースなども早めに消去されている状況です。意識して見ないと気付かないことも多いですが明らかにオカシナ状況の映像が映っていることがあります。傾向としてメディアは仄めかしで一瞬使用したあと、都合の悪いものは二度と放送に使いません。

放送法の第一条に「放送を公共の福祉に適合するように規律し、その健全な発達を図ることを目的とする」とある。つまりニュース報道といったものはコンテンツではなく、これらは放送法にも定められている公共福祉の義務です。その代わり、彼らは電波帯域の使用独占権を与えられています。ニュース報道は放送の義務です。ので、権利主張はできません。もし彼らが事件事故を作っているのであればです。

ホームページ(victim084)

<http://nekoneko2121.wix.com/victim084>

集団ストーカー被害者@広島県福山市

<http://victim084.blog.fc2.com/>

被害者@広島 集約暫定掲示板

<http://6261.teacup.com/revange/bbs>

FaceBook 平こうじ

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100011566238779>

twitter :

hk1303

hk1305hk

hk1312hk

集団ストーカー被害者@広島県福山市

<http://blog.livedoor.jp/victim084/>

「集団ストーカー仄めかし」に関わる事件事故について、暫定記録板

<http://jbbs.shitaraba.net/news/6220/>

集団ストーカー被害者相互情報掲示板(HK版)

<http://6237.teacup.com/syusuto/bbs>

FC2BBS

<http://victim084.bbs.fc2.com/>